

# 中村設計新聞

## 第三十一号

九月十五日(土)晴れ

今月の土曜研修は龍谷大学深草キャンパス十二号館と、京田辺市にある京エコハウスの見学を行いました。

### ○はじめに

今月の土曜研修では、午前は設計監理報告会として、龍谷大学深草キャンパスにて二十二号館を見学をしました。午後からは第四十五期土曜研修のキーワード「環境」に沿った、京都の伝統産業の知恵と、省エネの先端技術を結集させた京エコハウスを見学しました。

### ○二十二号館



規模：地下2階・地上4階・塔屋1階  
構造：RC造・一部S造  
建築面積：2,659.11㎡  
延床面積：15,215.03㎡

新たな教学展開に対応し、キャンパス生活のアメニティ向上を図る施設として計画。

長きにわたった設計・監理が終わり、ついにお披露目となった二十二号館！屋上から講義室、機械室までじっくり見学し、どのような空間になっているのかを実感として学びました。

### 第三十一号

九月十五日(土)晴れ

今月の土曜研修は龍谷大学深草キャンパス十二号館と、京田辺市にある京エコハウスの見学を行いました。

### ○体験レポート① 〈現場監理を終えて〉

九月二〇日(木)から龍谷大学深草キャンパス二十二号館が使用され始めました。

数えきれない人々の努力でこの日を迎えることができ、大勢の人に利用されている二十二号館を見ているとんだか、くすぐったい気持ちになります。これまでの既存建物同様、末永く利用され、後世に残る建物となることを願い、またこの仕事に携われたことに感謝し、私もこれからもがんばって行こうと思いました。

伊藤 由美子



地階食堂から見えるドライエリア

レッツ見学！

使い心地を体験

ラウンジにて

### ○京エコハウス



規模：地上2階  
構造：木造  
建築面積：77.02㎡  
延床面積：125.15㎡

エネルギー利用を極力控える文化・ライフスタイルの提案・実証実験等を行う。

### ○体験レポート② 〈京エコハウス〉

京エコハウスでは、自然エネルギーの活用の仕方や、京都の伝統技術・産業に根差した素材の使い方。さらに、消費電力の見える化や、最新の設備による省エネなどを体験してきました。

近年、各地でエコハウスと呼ばれる施設が増えていきます。その多くが建築の高気密・高断熱化や機械設備による省エネと自家発電を中心に取り組んでいるものが多いです。

今回見学した京エコハウスは、そういった手法に加え、材料に京都府産木材を使っていたり、建具の一部に京唐紙を取り入れていたり、「京都」にちなんだエコハウスになっていると感じました。また、断熱材や仕上材も、環境に配慮された素材が使われており、こだわりを感じました。

見学しながら、ソファや座敷でくつろぎ、五感で空間を体験できたことは、良い経験になったと思います。

大村 周平



京エコハウス

エコハウスの取り組みを聞きました！

意見をお聞きしながらの見学できました。

### ○まとめ

今回の見学を通して、二十二号館ではどうしてこのデザインになったのかを、目で見て手で触れて学べたことや、実際に使用されている状況が見れて、大変勉強になりました。また、京エコハウスでは木の空間や省エネ設備などに、興味を持つ所員が多かった。

今回の経験を今後の設計に活かし、機能・構造・技術の調和したバランスがとれた良い建築をつくっていききたいと思えました。

### ○ゴーヤカーテン



だんだんと過ごし易い気候となってきました。夏の間、厳しい日差しを遮ってくれた中村設計のゴーヤカーテンも今年の役割を終え、小さいながら収穫も出来ました。また来年もよろしく♪

